

花の話題で楽しく談笑する見学者と庭主



新緑が輝き、色とりどりの花が咲き誇る季節となりました。皆さん、全国各地で開催されているオープンガーデンに行かれたことはありませんか。猪名川町では5月16日・18日・20日の3日間、21邸の庭主が参加して「第5回いながわオープンガーデン」が開催されました。

今回は、4邸のお宅にうかがい、自慢の庭を見せていただきました。

特派員報告

いながわ



中橋 弥里



木下 美由紀

花を通して広がる人の輪

オープンガーデンとは、ガーデニングの本場・イギリスが発祥の地とされ、個人の庭を一般に公開するものです。最近では、日本全国に広まっており、中でも兵庫県は北海道や長野県と並び、全国的にもオープンガーデンが盛んな地域です。ここ猪名川町でも平成16年

花や緑がいつばいの町にいながわオープンガーデン

花のアーチが迎える庭 河合邸（伏見台）

道行く人にも花を楽しんでもらいたいと、河合さん宅のアプローチには手作りのベンチが置かれています。建物を覆うように成長したみごとなバラや、葉の色を楽しむカラーリーフと呼ばれる植物を生かした花壇など、どこを見てもまるで絵画のような美しさです。その洗練された庭は、訪れた誰もが思わず感嘆の声を上げてしまうほど魅力的です。

ご主人手づくりのアーチ

庭主の河合佳江さんは「猫がいるので、環境にやさしいガーデニングを心がけています。個人の庭から発信して、花と緑の輪が広がればうれしいですね」と笑顔で話されました。

周囲の風景と調和した心安らく庭 西山邸（島）

西山家の門をくぐると、忘れな草の小さな花が青いじゅうたんのようになっています。澄んだ湧き水の出る裏山にはツツジや山桜が咲き、庭では大きな樹木の木陰にエビネや日本サクラ草、ミヤコワスレなどの山野草が可憐な花をつけていました。



素朴なおもむきの前庭

西山佐枝子さんは「四季折々の表情があり、春もいいですが、冬の雪の庭もきれいですよ」と、季節の移ろいを楽しみながら庭の手入れをされていました。



眺望の良さが自慢の庭

豊かな自然に抱かれた手作りの庭 日野上邸（西畑）

日野上さんご夫妻は、9年前に若葉地区から現在の場所に転居され、元は段々畑だったという土地をお二人の力でおもむきのある庭へと作り上げました。庭からの見晴らしは最高で、ご主人が掘った大きな池では、珍しいモリアオガエルが産卵し、タヌキの家族も遊びに来るとい、まさに自然と一体となった庭です。ツル植物の植えられたアーチには、アケビ・ノウゼンカズラ・キウイ・クレマチスなどが仲良く共存し、それぞれに美しい花を咲かせていました。

緑あふれる山野草の庭 八木邸（松尾台）

お庭に一步足を踏み入るとたくさんの鉢植えが私達を出迎えてくれました。ガーデニングを始めた頃は鉢植えは難しいと思っていた

たという八木義子さん。それが今では、溶かした新聞紙にセメントを混ぜて自分で鉢を作ることもあっていうほどの力の入れようです。



熱心に山野草の手入れをする庭主

昔からスミレが好きで、そこから現在の山野草であふれるお庭に落ち着きました。今では、山野草の好きな友人と情報交換をしたり、お互いに株分けをしたりして交流を深めています。

●見学者の声●
毎年楽しみにしています。飾り方など参考にさせていただきます。益田孝子さん（尼崎市）
自分ではなかなかできませんが、電気のメーターをおしゃれに隠す工夫に感心しました。古塚育子さん（伏見台）
庭主さんとブログで知り合いました。はるばる見学の来ましたが、花や葉の色の組み合わせが素晴らしいですね。来年もまた来たいです。齋藤真理子さん（東京都多摩市）

後編 編集集



どちらのお宅でも、奥様が日常的な植物の手入れ、力仕事や庭を飾るアーチやベンチの製作はご主人と、家族が協力して庭づくりをされているそうです。家族が力を合わせ、時間と手間をかけて作り上げた庭から、新しい出会いや交流が生まれる。そして、自宅の庭を美しく飾ることが、花や緑で彩られた町づくりへとつながっていく、そんなオープンガーデンの魅力に触れることができました。皆さんも、オープンガーデンで花友達を作ってみませんか。【いながわ特派員】